

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '桜川地区防犯連絡員協議会運営事業' and '防犯対策事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about safety activities and roles.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for '防犯連絡員協議会運営' and '防犯連絡員の人数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial input and personnel data. Columns include 29年度 (実績), 30年度 (実績), 01年度 (計画), and 期間限定総投入量.

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

Table comparing 30年度実績 and 01年度予算 for '19 負担金補助及び交付金' with a total of 400.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a list of activities like '市長マニフェスト' and '未来PJ事業'.

事務事業名	桜川地区防犯連絡員協議会運営事業	事務事業No.	30202000693	所属課	生活環境課
-------	------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成19年に桜川地区の防犯連絡員の委嘱により、連絡員の連携を図るために設立された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	防犯連絡員より、活動手当や安全のための保険等について意見が述べられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	毎月15日はパトロールの日となっているが、地域によって活動に対する意識の温度差があり、パトロールをしていない地区もあることから、パトロール強化を図る必要である。
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防犯連絡員の個々の活動及び防犯パトロールを実施することで、市民の防犯意識の高揚と安全安心につながることから、政策に結びついている。
妥当性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川地区防犯協会及び桜川警察署長連名で委嘱され、市内全域に防犯連絡員を配置して地域のために活動していることから妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 毎月15日のパトロールや運動期間中のキャンペーンを実施しているが、地域によって温度差があり強化向上を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止すると地域の防犯連携体制がなくなり、地域安全が損なわれ影響を及ぼす。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市及び各支部で活動している
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助金も徐々に削減されており、防犯活動していく中で装備品や啓発活動は欠かせないものであることから削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域に防犯連絡員が委嘱され、地域安全に貢献しており市民全体が受益を受けていることから公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 市民アンケートの結果で、不安を感じている人の割合が前年度より減少している事から、防犯連絡員の活動が活発になり市民も安心できていると考えられる。しかし、まだ約半数の人が不安を感じているので、活動体制を整えることが必要である。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地域によって活動体制にばらつきがあるため、活動に対する意識を向上させ体制を強化する。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑦ コスト削減優先度評価結果																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>